

都 市 消 防 委 員 会 説 明 資 料

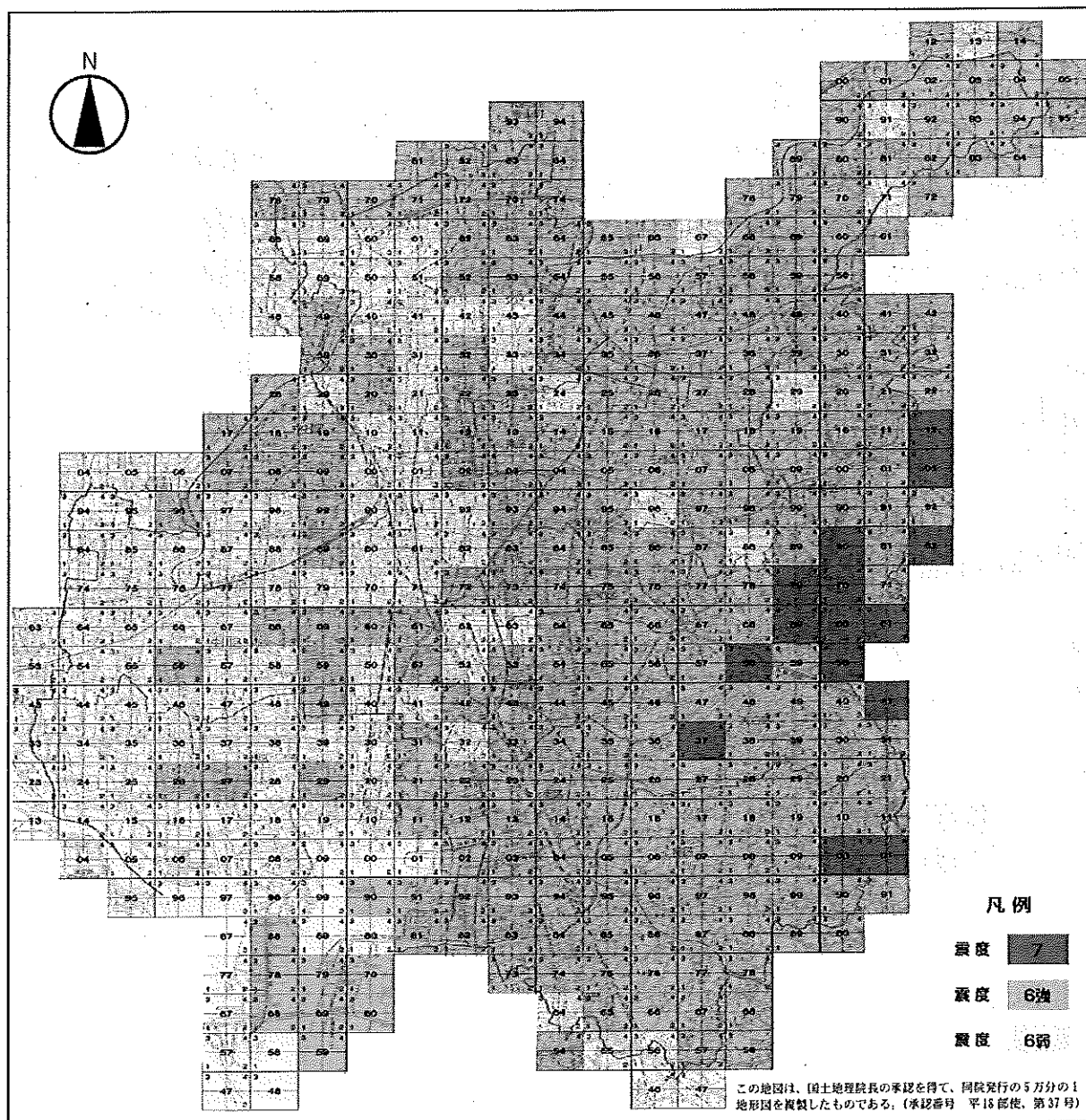
令和 7 年 3 月 14 日

防 災 危 機 管 理 局

目 次

	頁
1 「猿投－高浜断層帯」の地震による震度分布図について……………	1
2 感震ブレーカーの設置促進について……………	2
3 政令指定都市における同報無線の活用状況について……………	3
4 個別避難計画作成モデル事業について……………	4

1 「猿投－高浜断層帯」の地震による震度分布図について



(注) 1 中央防災会議が平成18年12月に公表した資料に基づいて、
本市が作成

2 名古屋市域で予測される震度を1 kmメッシュごとに表示

2 感震ブレーカーの設置促進について

(1) 助成内容

区 分		主な木造住宅密集地域		左記以外の地域
対象機器		分電盤タイプ	簡易タイプ	分電盤タイプ
令和 6 年度	助成額	・設置費の1/2 ・上限額4万円 ・新築時の場合は 一律1万円	・設置費の全額 ・上限額3千円	・設置費の1/3 ・上限額2万6千円 ・新築時の場合は 一律6千円
	戸数	100戸	10,000戸	640戸
令和 7 年度	助成額	・設置費の1/2 ・上限額4万円 ・新築時の場合は 一律1万円	・設置費の全額 ・上限額3千円	・設置費の1/3 ・上限額2万6千円 ・新築時の場合は 一律6千円
	戸数	100戸	10,000戸	640戸

(2) 助成実績

ア 分電盤タイプ

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸数	戸 555	戸 624	戸 560
木密	62	8	21
その他	493	616	539

(注) 1 木密とは、主な木造住宅密集地域

2 令和6年度は、令和7年2月末現在の交付決定数

イ 簡易タイプ

区 分	令和5年度	令和6年度
戸数	87戸	2,397戸

(注) 1 令和5年度から助成を開始

2 令和6年度は、令和7年2月末現在の交付決定数

3 政令指定都市における同報無線の活用状況について

区 分	定 例	随 時
さいたま市	子どもの見守り 定時放送	特殊詐欺の注意喚起、行方不明人搜索 依頼、光化学スモッグ情報、熱中症警 戒情報、火災予防放送、危機事案
千 葉 市	子どもの見守り	特殊詐欺の注意喚起、行方不明人搜索 依頼、光化学スモッグ情報
川 崎 市	—	特殊詐欺の注意喚起、行方不明人搜索 依頼、光化学スモッグ情報、熱中症特 別警戒情報、刃物を持った人の情報 等、害獣出没情報
相 模 原 市	—	行方不明人搜索依頼、光化学スモッグ 情報、熱中症特別警戒情報、害獣出没 情報、地域に限定した防犯
静 岡 市	—	行方不明人搜索依頼、害獣注意喚起、 選挙広報、弔意表明
浜 松 市	—	特殊詐欺の注意喚起、行方不明人搜索 依頼
名 古 屋 市	—	生命身体に重大な影響のある犯罪情報
大 阪 市	子どもの見守り	特殊詐欺の注意喚起、凶悪犯罪発生情 報
堺 市	—	光化学スモッグ情報、重大かつ緊急性 が高い犯罪情報
神 戸 市	定時放送	防犯啓発
広 島 市	—	特殊詐欺の注意喚起
熊 本 市	—	行方不明人搜索依頼、弔意表明

(注) 1 防災目的以外で活用している政令指定都市を抜すい

2 令和6年6月現在

4 個別避難計画作成モデル事業について

(1) 作成状況

区 分	令和5年度		令和6年度	
	対象者数	作成者数	対象者数	作成者数
北 区	— 人	— 人	432 人	62 人
中 川 区	—	—	450	65
港 区	—	—	218	44
南 区	265	46	104	15
守 山 区	—	—	436	82
緑 区	—	—	40	6
計	265	46	1,680	274

(注) 令和6年度作成者数は、令和7年2月末現在

(2) 計画作成に対する主な不同意理由

- ・病気や身体状況等の個人情報を知られたくない。
- ・避難所まで行くことが難しい。
- ・避難所での生活に不安がある。

(3) 予算内訳

区 分	金 額
福祉事業者への報酬	4,500 千円
事務局運営	50,000
事業広報	969
計	55,469

(4) 課題及び取組内容

課 題	取 組 内 容
対象者に対して計画の趣旨を十分伝えきれていない	郵送によるハザードリスクの周知及び作成の再勧奨
一度作成した計画について、状況の変化に伴う更新ができていない	行政による更新及び郵送による対象者への申出勧奨
計画上の避難支援者に対する周知・啓発ができていない	リーフレット・動画等を活用した啓発

